

# YUI みらい プロジェクト

## 助成プログラムのご案内

応募受付期間 2023年7月20日(木)午前10時~9月30日(土)15:00(必着)

ジェンダー視点のある  
ソーシャルインパクト助成

ジェンダー視点のある  
地方創生助成

募集要項のダウンロードや、説明会等のお申し込みは YUI みらい特設サイトをご覧ください

<https://mirairita.org/yui-mirai/index.html>



公益財団法人 みらい RITA



## 公益財団法人 未来 RITA について

### ●団体概要

法人名	公益財団法人未来 RITA
代表理事	代表理事 藺田綾子(株式会社クレアン 代表取締役)
目的	この法人は、社会・環境課題の解決に向けてチャレンジする組織を、資金面・技術面・人材面での支援、人的な交流機会の提供やメンタリングなど様々な方法で支援し、大きなソーシャル・インパクトを発揮できるような仕組みを作ることにより、サステナブルな社会の実現に資することを目的とします。
事業内容	この法人は、前条の目的を達するため、次の事業を行います。 (1)NPO 法人等の非営利団体や社会起業家等を対象とした公募による助成金の支給事業 (2)NPO 法人等の非営利団体や社会起業家への事業計画策定の支援事業 (3)団体の活動を支援する専門家のネットワーク(プロボノ集団)構築、団体と専門家のコーディネート並びに情報提供事業 (4)団体の経営や中長期事業計画、未来ビジョンに関する相談やメンタリング事業 (5)その他、この法人の社会的な目的を達成するために必要な事業 前項の事業は日本全国において行います。

### ●沿革

2017年2月	一般社団法人「未来 RITA」設立
2017年4月	一般助成プログラムプログラム開始
2019年8月	公益財団法人の認定取得
2020年5月	新型コロナウイルス緊急支援
2023年7月	YUI 未来プロジェクト 助成プログラム立ち上げ

# 1. YUI 未来プロジェクトとは

## 背景

ジェンダー平等と女性・女の子のエンパワーメントは、持続可能な開発目標(SDGs)に掲げられた国際社会共通のゴールです。実現するには、性別役割分業を前提とした社会・経済の仕組みを変革すること、社会を構成する多様な人たちが協働することが不可欠だとSDGs は提唱しています。

一方、「グローバルジェンダーギャップ報告書 2023」(世界経済フォーラム)によると、日本の男女格差は 146 カ国中 125 位で、過

去最低を記録しました。官民で「女性活躍」を掲げてきたものの、格差は依然として深刻であり、改善のスピードが著しく遅いこともわかります。今、日本で求められているのは、社会の変革を促すことに主眼を置いた、官・民・市民社会の多様なステークホルダーによる取り組みではないでしょうか。

## YUI 未来プロジェクト

公益財団法人 未来 RITA は、2017 年の設立以来、未来の世代にとってよりウェルビーイングで持続可能な社会を実現するための取り組みを、助成金と伴走支援で応援しています。そのなかでも日本の最大の課題の一つであるジェンダー不平等に取り組む事業に注力してきました。

そして、世界各地で女性・女の子の支援を行ってきたシャネル財団と 2023 年2月にパートナーシップを結び、「すべての人の人権が尊重されるジェンダー平等社会に向けて」というビジョンのもと、ジェンダー平等推進に特化した助成金プログラム「YUI 未来プロジェクト」を新たに立ち上げました。「YUI 未来プロジェクト」では、総額約 1 億 3,000 万円を日本でジェンダー平等推進に取り組む団体に対して助成します。



YUI の「Y」と未来の頭文字の「M」が結びつきながら花を咲かせるロゴのデザインとなっています。

### 用語解説

#### ジェンダー平等

権利、責任、機会における男女および男の子・女の子の平等

#### 女性・女の子のエンパワーメント

女性・女の子が自分の人生において自己決定し、選択できる力を身につけるプロセス

出典: [UN Women\(国連女性機関\)](#)

※「ジェンダー」については[こちら\(UN Women 日本事務所の WEB サイト\)](#)

## 2. 二つの助成プログラム

YUI 未来プロジェクトには、二つの助成プログラムがあります。ひとつは「ジェンダー視点のあるソーシャルインパクト助成」、もうひとつは「ジェンダー視点のある地方創生助成」です。どちらも「事業費」と併せて、「組織基盤強化のための経費」も助成対象となります。活動を社会に波及させていくためには、支援者・協力者層の拡大、情報発信、経理等、組織基盤の強化が欠かせないからです。未来 RITA による「伴走支援」も含めて、助成先団体の中長期的な成長とインパクト創出を応援します。

それぞれ趣旨や、応募内容が異なるので、募集要項をご覧のうえ、応募ください。

### ① ジェンダー視点のあるソーシャルインパクト助成

草の根でジェンダー課題に向き合ってきた団体は、課題を生み出す構造を深く理解し、解決に向けた革新的なアイデアを有しています。しかし日々の活動のなかで、新しい取り組みに対する資金を集めたり、新たな連携先を開拓したりすることは容易ではありません。

そこで「ジェンダー視点のあるソーシャルインパクト助成(以下『ソーシャルインパクト助成』)」では、先進的な事業のアイデアと実行力を備える団体が、自団体の強みを活かしながら、自分たちにはない強みを持つ、外部の多様なアクターと協働し、ジェンダー平等社会実現に向けて広く波及し得る取り組みを支援します。

対象となるテーマは、(1) 持続可能な開発目標(SDGs) ゴール 5「ジェンダー平等を実現しよう」に貢献する取り組み、(2) 女性の経済的エンパワーメントに貢献する取り組み、(3) ジェンダー平等社会を創るリーダーを育成する取り組み、(4) ジェンダーと障害など、多様な要因による複合差別の解消を目指す取り組み(「交差性」に着目する取り組み)です。

### ② ジェンダー視点のある地方創生助成

2000 年代に入ってから、地方の若年女性が都市部にどんどん流出しています。その背景には、「働きがいのある職場がない」「女性の仕事は限られている」「結婚・出産への重圧がある」「家事・育児、地域の仕事の責任が女性に偏っている」など、家庭・職場・地域社会に根強く残るジェンダー規範・慣行があると指摘されています。

そこで、「ジェンダー視点のある地方創生助成(以下、地方創生助成)」では、「地域のありたい姿(長期ビジョン)」の実現に向けて、家庭・職場・地域社会に根強く残る性別役割分業意識や、それを前提とする仕組み・慣行を「官・民・市民社会の連携」によって変革する取り組みを支援します。

一般的な助成金応募の進め方と違い、「地方創生助成」では、応募時点では、取り組み内容は決めません。申請書に記載していただいた応募動機と、地域のありたい姿(ビジョン)等をベースに審査します。採択されますと、未来 RITA のサポートを受けながら、地域のユース、官・民・市民社会が参画する「未来ワークショップ」を開催していただきます。ワークショップを通じて、ビジョンと具体的なアクションプランを共に創り上げていきます。

上記二つの助成プログラムの概要は次の通りです。

詳しくは、それぞれの助成プログラムの募集要項をご覧のうえ、ご応募ください。

応募要項は[こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04](https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04)

ダウンロード頂けます。

表: YUI みらいプロジェクト 第1期 助成概要

	ジェンダー視点のある ソーシャルインパクト助成	ジェンダー視点のある 地方創生助成
対象となるテーマ・領域	(1) 持続可能な開発目標(SDGs) ゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」に貢献する取り組み、 (2) 女性の経済的エンパワーメントに貢献する取り組み (3) ジェンダー平等社会を創るリーダーを育成する取り組み (4) ジェンダーと障害など、多様な要因による複合差別の解消を目指す取り組み(「交差性」に着目する取り組み)	ジェンダーギャップ解消を目的として、家庭・職場・地域社会に根強く残る性別役割分業意識や、それを前提とする仕組み・慣行を「官・民・市民社会の連携」によって変革する取り組み
対象となる団体	国内に主たる事務所と活動を有する公益財団法人、公益社団法人、社会福祉法人、特定非営利活動法人(NPO 法人)など非営利活動・公益事業を行う、法人格を有している団体。 ※一般財団法人および一般社団法人は非営利型のみ対象とします。 ※原則として、法人格を持たない任意団体は対象外となりますが、助成対象期間中に非営利の法人格に移行する予定がある場合は、対象とします。	ジェンダー平等への強いコミットメントを持つメンバーが活動し、また地方公共団体および地域経済団体(商工会議所、企業・地域金融機関・経営者の団体・グループ等)とのネットワークもしくは協働実績を有する団体
取り組み内容を固めるタイミング	取り組み内容を固めたうえで応募	取り組み内容を固めずに応募。選考を通過した団体は、地域の若者および官・民・市民社会を対象とする「未来ワークショップ」を実施し、その結果を踏まえて取り組み内容を固める
助成期間	2024年1月から最長2年間(2025年12月まで)	
1案件あたりの上限助成金額	1,500万円	700万円
1案件あたりの下限助成金額	500万円	200万円
助成総額	1億円(予定)	3,000万円(予定)
採択予定件数	8~10件(予定)	4~7件(予定)
対象地域	日本国内	日本国内(特に地方)
組織基盤に対する助成	助成金に含める	
伴走支援	あり(内容は助成決定後、随時ご相談により決める)	
応募締切	<b>2023年9月30日 土曜日 15:00</b>	
応募方法	団体登録後、申請書および添付書類をWEBサイト経由で提出	
選考方法	1次選考: 書類審査(※必要に応じてヒアリング致します) 2次選考: 面接	

### 3. 応募方法

**応募締切 2023年9月30日 土曜日 15:00**

応募方法の詳細は募集要項をご覧ください。2つの助成で用意頂く書類や選考プロセスが異なります。

[こちらから https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04](https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link04)

申請書等、各種用紙をダウンロード頂き、申請書等を作成します。

みらい RITA の団体登録サイトにご記入いただいたうえで、申請書類等を応募専用の WEB サイトでアップロード頂きます。

団体登録や応募専用 WEB サイトには、上記の URL、または募集要項(PDF)からアクセス頂けます。

### 4. 説明会

**【任意のご参加です】**

助成の内容や応募方法についてのオンラインの説明会を開催します。助成金の申請にご関心がある方は是非ご参加ください。

[こちらから](#)

<https://mirairita.org/yui-mirai/index.html#link05>

説明会の日程確認、申込を頂けます。

### 5. 個別相談

**【任意のご利用です】**

申請内容に関する不安・不明点等について、個別相談をご利用頂けます。できるだけ多くの団体に機会をご提供するために、原則として1団体あたり1回とさせていただきます。時間は 30 分です。

詳しくは[こちらから](#)

<https://mirairita.org/yui-mirai/consultation.html>

個別相談のお申し込みも頂けます。

### 6. お問い合わせ先

公益財団法人 みらい RITA YUI みらいプロジェクト事務局

お問い合わせフォーム

<https://mirairita.org/yui-mirai/contact.html>

E-mail:yuiinfo@mirairita.org

※お問い合わせは、極力フォーム にてお願い致します。